

体験学習用 課題フォルダ

幼長、小1～3用



体験学習の二回分は、この課題フォルダを使ってください。

はじめに 幼長～小3用

この体験学習用課題フォルダは、通信生、通学生共通ですが、説明は主に通信生用を書いてあります。

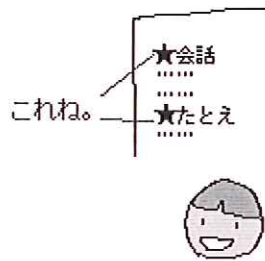
通学生は、次のように読み替えてください。

通信生	通学生
電話がある。	授業がある。
ポストに投函する。	先生に作文を提出する。

① 体験学習の一週目

その週の課題を見て書くことを決めておいてください。家族に似た話を聞くと話題が広がります。

④ 「項目表」の左はしに④④④という項目マークが書いてあります。



⑦ 書き終えた作文については、注意をしたり手直しをしたりせず、いいところを褒めてあげてください。

② 担当の先生から、体験学習の日に電話があります。

時間から十分たっても電話が来ない場合は、教室までお問い合わせください。(受付午後八時まで)

⑤ 作文を書いたあと、その項目のできたところに項目マークを書いておいてください。

⑧ 作文に自分の住所シールを貼り、封筒用紙には先生の住所シールを貼ってください。

③ 電話のあとすぐに書き始めて、途中で休まずにその日のうちに書き終えてください。(あまり時間がかるときは、途中までで提出してもかまいません。)

⑥ 作文を書いていて、わからなくなったら教室に電話をして聞いてください。

⑨ 作文は、翌日の午前中までにポストに投函してください。海外の生徒は、「学習の手引」の「手書きの作文のアップロード」を参照して送ってください。

書き方の例（幼長～小3）

絵をかいたところへ



きょうのこと

小一 もりの はなこ

すうじのところへ

きょう、わたしは、あさ五じにおきまし

なまえのところへ

た。きょうは、よこはまのおじいちゃんの

「□□」のところへ

いえにいく日です。おかあさんが、
「はやくおいで。」

たとえ（まるで）のところへ

といいました。おとうさんは、もうにもつ
をはこんでいます。おとうさんは力がつよ
いので、まるでかいじゅうみたいです。

思ったところへ

わたしは、あさはやくて、おなかがすい
たなあと思いました。

項目（いづれ）のできたと

ころに などのマー

クをかきましょう。

絵は、作文用紙（さくぶんよ

うし）にかいていいです。

できたところを しかく でかこ

む必要（ひつよう）はありません

ん。

項目（こうもく）は、どれか

つができていれば合格（ごうかく）

くです。



●保護者の方へ： 作文が書けたら直さずに、いいところだけ見て、そのまま提出してください。

課題集 幼長～小3 の山

週	課題	週	課題
体験 1週目	★自由な題名で書いてください。 (「きょうのこと」「このあいだのこと」などが書きやすい)	体験 2週目	★自由な題名で書いてください。 (「きょうのこと」「このあいだのこと」などが書きやすい)

項目表 幼長～小3 の苗 (幼長～小3)

目標: 正しい表記を身につけ楽しく書く習慣をつける

項目の★印ができるように書いていきましょう。段落は大体の目安にすぎません。



第1段落	項目	キーワード	説明
㊦ 構成	★ はじめに絵をかく	<<構成>>	中心を決めるために絵をかく
㊦ 題材	★ 名前・数字	名前 数字 なまえ すうじ <<題材>>	名前や数字をくわしく書く
↓			
第2段落	項目	キーワード	説明
㊦ 題材	★ 会話	「 」 長い会話 <<題材>>	会話を思い出して書く
↓			
第3段落	項目	キーワード	説明
㊦ 表現	★ たとえ	まるで みたい よう <<表現>>	まるで…のよう
↓			
第4段落	項目	キーワード	説明
㊦ 主題	★ 思ったこと	思 おも <<主題>>	思ったことを書く
↓			
字数	★ 50字以上	長く書ける人は200字ぐらいを目標に	

項目の説明 (どれか一つ以上ができるように書きましょう)

★はじめに絵をかく (㊦構成)

作文を書きだす前に、作文に書こうと思っていることを絵でかいてみましょう。

★数字 (㊦題材)

そのときの数字がわかるように書いてみましょう。

ぼくは、朝早く起きました。→ぼくは、朝五時に起きました。

★会話 (㊦題材)

そのときのだれかの言ったことを「カギカッコ」を使って書いてみましょう。

お母さんは、
「早くおいで」
と言いました。

★たとえ (㊦表現)

「まるで……」「……みたい」「……よう」などの言葉でたとえを使って書いてみましょう。

わたしのお父さんは力が強いので、まるで怪獣(かいじゅう)のようです。

★思ったこと (㊦主題)

作文の途中や最後に、自分の思ったことを書いてみましょう。

ぼくは、おなかがすいたなあと思いました。

※★印の項目ができたなら、作文用紙の余白に、㊦ ㊦ ㊦ ㊦などのマークをそれぞれ書いておきましょう。

作文用紙に貼る自分の住所シール

作文用紙

自分の住所シールをはりましょう
 <作文用紙の1枚目のみ>

住所シールの はり方

4月1日	5月1日	6月1日
234-0054 神奈川県 横浜市 港南区港南台4-3-1 言葉の森	234-0054 神奈川県 横浜市 港南区港南台4-3-1 言葉の森	234-0054 神奈川県 横浜市 港南区港南台4-3-1
森野 一郎 様	森野 一郎 様	森野 一郎
		
小2・4月とり	小2・5月とり	小2・6月と
234-0054 神奈川県 横浜市 港南区港南台4-3-1 言葉の森	234-0054 神奈川県 横浜市 港南区港南台4-3-1 言葉の森	234-0054 神奈川県 横浜市 港南区港南台4-3-1

封筒用紙に貼る自分の住所シール

封筒用紙

(1) 山おり

※郵便局の方へ
 この封筒の宛先が不明なときの届け先
 〒234-0054
 横浜市港南区港南台4-3-1
 Online 作文教室 言葉の森
 電話 045 830 1177 FAX 045 332 1466

(4) 山おり

先生の住所シールをはりましょう。

切手
 作文用紙
 4枚まで80円
 5枚以上 90円

ここに先生の住所シールを
はってください。

(3) 山おり

(5) 山おり

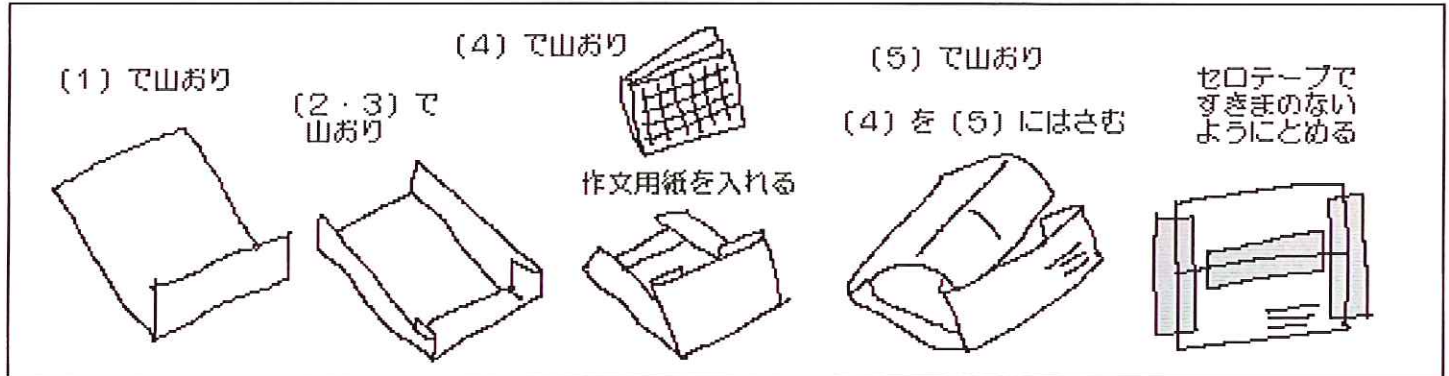
(2) 山おり

封筒用紙の折り方

封筒用紙には項目住所シールの中にある先生の住所シールと切手をはってください。
切手は、25グラムまで80円、50グラムまで90円です。

(A 4サイズの作文用紙4枚までが80円、5?10枚までが90円です)

曜日や時間の変更で、担当の先生が交代した場合は、新しい項目住所シールをお送りします。



① 体験学習の二週目

二週目の電話がある前までに、課題を見て、次の週に書くことを考えておきましょう。

③ 作文の返却とは別に、

「山のたより」「言葉の森新聞」という印刷物が送られてきます。

⑤ 二回目の作文も、同じ

ように書いて提出します。これで体験学習は終わります。

② 二週目の授業までに作文が返却されますが、郵便事情などで返却が遅れることもあります。

その場合でも、先生は先週の作文をもとに指導しますので勉強には差し支えありません。

④ 二週目の同じ時間に、

担当の先生から二回目の電話があります。

⑥ 二回目の作文は、三週

目までに返却されます。体験学習のあと入会される場合は、三週目の授業がある日までに教室までご連絡ください。

① 入会後の勉強

入会後は、「体験学習用課題フォルダ」とは別の「その学期の課題フォルダ」で勉強していきます。

② 電話を受ける前に書く

ことを決めておきましょう。必要に応じて家族に似た話を聞いてみましょう。感想文の場合は、長文を読んでもおきましょう。

③ 作文は他人と比較せずに、いつも本人の作文のいいところを認めてあげてください。

作文は他人と比較せずに、いつも本人の作文のいいところを認めてあげてください。

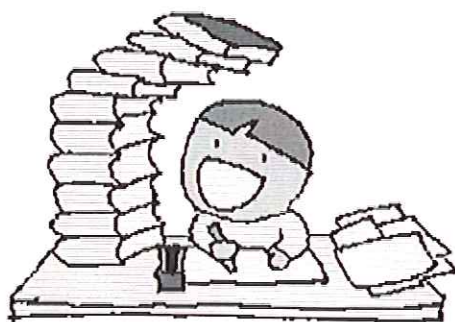
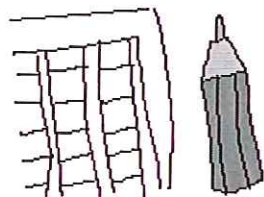
④ 作文は直したり注意したりせずに、項目のできたところを中心に見てあげてください。

作文は直したり注意したりせずに、項目のできたところを中心に見てあげてください。

⑤ 親子の対話が国語力を育てます。作文や長文をもとに親子で楽しく話をする時間を作ってください。

親子の対話が国語力を育てます。作文や長文をもとに親子で楽しく話をする時間を作ってください。

⑥



いつもよいところを見て、楽しく長く続けられるようにしてください。

ホッチキスの針の部分は、セロテープなどでとめてお使いください。



幼長、小1～3用

言葉の森 234-0054 横浜市港南区港南台4-3-1 電話 0120-22-3987(045-830-1177)